

冬場のカメムシ



東洋産業だより

Vol. 179
2018年12月号



気温が下がり、冬の寒い気候となってきました。寒くなると虫を見かけることも少なくなり見かけますが、そんな中でもよく見かける虫がいます。カメムシです。洗濯物と一緒に室内に入ってきて困ったという

す。4〜5月は、越冬していたものが一斉に動き出し、繁殖・産卵を行います。そして、活動を始めたカメムシは、幼虫の餌となる植物に一斉に集まります。一方、秋になると今度は越冬場所を求めて活動します。

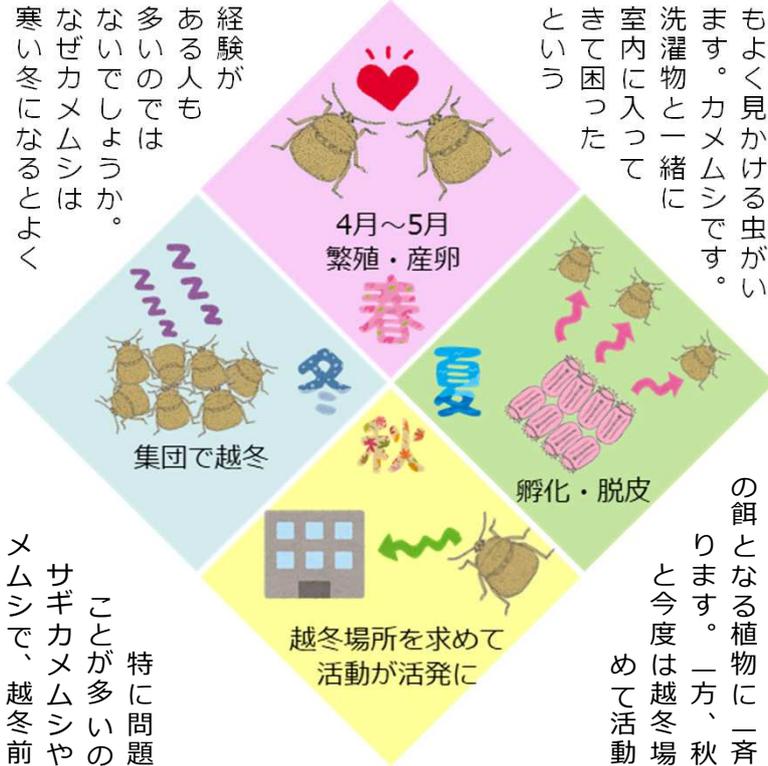


図1 マルカメムシの季節ごとの行動

経験がある人も多いのではないのでしょうか。なぜカメムシは寒い冬になるとよく目にするようになるのでしょうか。

これはカメムシの季節ごとの行動によるものかもしれません。カメムシは、主に春と秋に最も移動が活発になりま

特に問題となることが多いのは、クサギカメムシやマルカメムシで、越冬前には日

などにより周囲の気温が高くなると動き出すことがあります。特に工場などでは冬の寒い時期に製品にカメムシが混入する事例もありますので、この時期のカメムシを建物に侵入させないことが重要です。

この他にカメムシを多く見かける原因として、周りにカメムシの好む植物がある可能性もあります。例えば、クサギカメムシはマツやスギの木、果樹など、マルカメムシはクズ、フジ、ダイズなど、特にマメ科の植物を好みます。建物の周囲にある植物を見直し、カメムシを寄せないような環境作りをしてみるのもいいかもしれませんね。

寒くなると、虫全般の活動が鈍り、見かけることも少なくなると思いますが、しかし、少ないからと言って安心はできません。春になると一斉に越冬から目覚め、動き出します。今のうちに、天井裏や屋外に置かれた資材など、虫が潜伏できそうな場所を点検し、すでに入り込んでしまったものの駆除を行うことが重要です。



カメムシの臭い

カメムシにはくさい臭いを出すイメージがありますよね。カメムシはどうして臭いを出すのでしょうか。カメムシの強烈な臭いは外部からの刺激によって分泌されるもので、敵に食べられないよう防衛のためであるといわれています。また、この強烈なおいには仲間を寄せ付けられない警報の効果もある一方、低濃度であると、逆に仲間を集める効果もあるといわれています。この臭いの元となる物質は、カメムシが刺激を受けることで、足の付け根の部分から分泌されます。屋内に入ってきたカメムシを臭いを出さずに駆除したいなら、とにかくカメムシに刺激を与えないようにすることが大事です。絶対に潰したり、間違っても掃除機で吸い込んだりしないようにしましょう。冷凍スプレーを使って駆除することもできますが、もっと手軽にしたいなら、背中側からガムテープで引っ付けて動きを封じ、そのまま潰さないようにくるんで捨てれば、臭いを出さずに駆除できます。

まだカメムシと格闘を続けなければならない時期ではありますが、少しでも臭いの被害にあわないように、カメムシに遭遇した時は試してみたいかがでしょう。

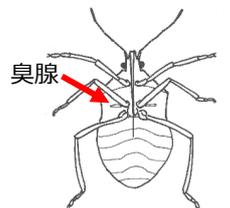


図2 カメムシ（腹側）



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-2241-8080

FAX 086-241-8094

拠点 大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島

高松・松山・金沢

www.to-yo-s.co.jp

(バックナンバー掲載中)